

# 2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
05010111

## 1. 計画名称

茅野市水道ビジョン(水道事業特別会計)

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	クリプト対策設備の必要な施設は8箇所の内3箇所が設置済みである。平成30年度は北大塩中区配水池に設置した。平成30年度の基幹管路の耐震化整備延長は4.8kmであり、耐震化率は9.4%から11%と増加した。配水池の耐震化率は北大塩中区配水池の整備が完了し耐震化容量は大幅に増加した。石綿セメント管残延長については0.13km除却され、21.5kmから21.37kmに減少した。
今後の重点化施策番号	2	説明	北大塩中区配水池築造と合わせた米沢地区の基幹管路の整備及び市内既設管布設替により耐震化が進んだ。配水池の耐震化については、北大塩中区配水池の整備が完了し、耐震化容量は17.2%から63.95%と大幅に増加した。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	安全:安全でおいしい水の供給	おおむね順調	日頃からの水源の適切な管理と保全が重要。	クリプト対策が必要であるが、高価であるため計画的な対応が必要。	年次計画の策定、安価な処理方法の確立。
2	強靱:災害に強く強靱でしなやかな水道	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路については、北大塩中区配水池～埴原田配水池への送水管工事、中央病院への送水管工事を実施。</li> <li>・基幹配水池については、北大塩中区配水池築造工事を実施。</li> </ul>	管延長及び老朽管延長が長い場合、全管を整備するには年数が必要であり、今後は法定耐用年数を超える管路が増える傾向にある。	老朽管が今後多くなることが予想されることから、上水道単独工事のみではなく、他事業との計画を整合することで、よりコスト削減を図り事業費をおさえていく必要がある。
3	持続:将来に続く持続可能な事業運営	おおむね順調	継続して一定の利益を確保することができている。また、主要事業である北大塩中区配水池整備事業が概ね終了し、来年度に外構工事を残すのみとなった。	引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。	北大塩中区配水池への紫外線処理装置設置工事はコストを抑えたとともに、国庫補助を受けることができた。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	建設産業振興ビジョン推進部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が起きたら山浦は井戸があるから何とかなる。しかし、市街地はそうはいかない、軟弱地盤の市街地から整備を進めるべき。早くやった方がよい。</li> <li>・市街地、蓼科、白樺湖と地区ごとに整備したらどうか。</li> </ul>	基幹管路については、北大塩中区配水池から新埴原田配水池への送水管及び諏訪中央病院への送水管工事を整備し、併せて配水管についても耐震化を進めている。 平成29年度に3上水統合したので、全体の整備計画を今年度から策定し、計画に沿って随時進めて行く。
開催回数	1		
参加延べ人数	19		
関連市民団体等名称	茅野市上水道運営審議会		茅野市上水道運営審議会の開催は12月20日(金)に予定している。その際に事業進捗状況の報告、意見聴取を行う。
開催回数	1		
参加延べ人数	17		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

## 5. 添付資料

別紙「施策評価シート」